

樹種名	キンショクダモ	
科 目	クスノキ科	
学 名	<i>Neolitsea sericea</i> ver. <i>aurata</i>	
分 布	小笠原、九州、沖縄の山地や低地に生育し国外では、台湾、フィリピンに分布する。	
樹木特性	若い葉が金色の絹毛に覆われており、遠くからでもよく目立つのである。外見はシロダモと酷似しているが、シロダモの若葉には柔らかい毛があるのに対し、キンショクダモは成長しても葉裏が金色の絹毛に覆われている。 また、キンショクダモの花期は春に対して、シロダモは秋に開花し、花期の違いによって明らかに異なる。	
用 途		
現存本数	1 本	
特 徴	【樹形】 樹高 10 ～ 15m に達する常緑高木。 幹は直立し、樹皮は暗褐黒色。若枝には黄褐色の絹毛がある。 葉は互生し、葉柄があり、全縁で枝先に密にする。葉身は長楕円状披針形で、長さ 7～15cm。先は尖り、表面は緑色で、裏面は 3 行脈が目立つ。若い葉が金色の絹毛に覆われる。雌雄異株。 花は 3～5 月に散形花序で、葉腋に黄褐色の小花を多数つけ直径 2 cm ほどの黄色いボンボンのような花が咲く。 果実は楕円状球形で、長さ 11～13mm ほどの丸い実が数個かたまってつき、赤色に熟す。 フルーティーなとてもいい香りがする。	
試験地での様子	ポット苗により植栽し、1 本が現存している。なお、シロダモの苗木に混入していた。	
被 害	特になし	

【現存率】

平成 26 年に毎木調査をした結果、1 本が現存している。

【根元・胸高直径】

平成 26 年に毎木調査をした結果、胸高直径は 14.58 cm であり順調に成長している。

【樹 高】

平成 26 年に毎木調査をした結果、樹高は 9.26m であり、順調に成長している。

《プチ情報》

シロダモは通常、葉裏の毛はしばらくすると落ちてしまうのだが、木によっては葉裏にいつまでも残ることがあり、キンショクダモとして区別されている。ただし、その程度は様々であり、一見しただけではシロダモと変わらないような木もあれば、まるで真鍮の箔を貼り付けたように見える木もある。

